

# ◎ しかぶ 議会広報

平成31年2月発行



白熱する子どもカルタ大会

No.  
156

●第4回 定例会

●決算特別委員会

●所管事務調査報告

●一般質問5議員

有害駆除捕獲奨励金の増額

農協倉庫の購入など議論

村の基金は前年度と比較して6908万円の減額

双珠別ダムを調査

トナム地区の子育て支援と定住施策

避難施設・役場庁舎のトイレ

避難路建設の対応と進捗状況

学校給食無償化の提案

公園の整備

# 第4回 定例会

## 有害駆除捕獲奨励金の増額 農協倉庫の購入など議論

平成30年第4回定例会は、12月13日・14日の2日間開催され、条例の一部改正や各会計補正予算などの審議が行われ、すべて原案どおり可決しました。また、5議員が一般質問で政策論議を展開しました。

(傍聴 13日28人 14日2人)

### 条例の改正

●人事院勧告に基づく議員・特別職・教育長・職員の給与等の条例の一部改正（3件）

### 平成30年度補正予算

### 質疑

#### 〔一般会計〕

**問** 総合センター管理費修繕料59万6千円増の内容を伺います。

(山本議員)

**多田総務課長** 総合センターのボイラー関連修繕と、占冠地域交流館の屋根に上る階段部分の修繕です。

**問** 旅客自動車運送事業の修繕料の内容を伺います。

(山本議員)

**小林建設課長** 村営バスのマップラー修繕に60万円、突発的な対応修繕に45万円計上しています。



鹿捕獲作業前の安全確認

**問** 熊・鹿駆除捕獲奨励金の増額理由と、狩猟に関して恵庭市で誤射の事故があり1名の方が亡くなられています。今後の村の対応等を伺います。

(山本議員)

**今野林業振興室長** 熊は5頭から9頭分、鹿は300頭から380頭分増加を見込み、68万円増額しています。

狩猟に関しては、猟友会占冠分会の方々には文書で注意喚起、HPで全国のハンターにお知らせを掲示します。なお、北

海道猟友会は年内自粛します。また、猟区の狩猟について、農業被害の有害駆除は農業団体の要請で従来どおり行います。

**問** 公有財産購入費の土地購入費の減額理由を伺います。

(山本議員)

**多田課長** 富良野農協から借りている農協倉庫の土地の正確な金額が分かったので減額しました。購入予定額は38万9千円です。

**問** 公有財産購入費の建物取得費7万5千円の減額、使用料8万8千円増額の内容を伺います。

(大谷議員)

**多田課長** 建物取得費の減額は農協倉庫の購入金額が確定したため、使用料は購入時期が遅れたので増額となりました。

**問** 農協倉庫と土地を今後どのような形で使用していくのか伺います。

(五十嵐議員)

**多田課長** 今まで備品倉庫として長年使用してきていたので、このまま継続して使用していきます。

**問** 社会福祉総務費の福祉灯油27万円の増額理由を伺います。

(大谷議員)

**木村福祉子育て支援課長** 当初90世帯分を1世帯当たり1万8千円で見込んでいましたが、灯油単価上昇により2万1千円に増額しています。

**問** 予防費のがん検診・エキノコックス症検査委託70万円の減額理由を伺います。

(大谷議員)

**小尾住民課長** 胃がん、前立腺がん等それぞれの検診の受診率が低かったのが主な要因です。

**再問** 受診率が減少しない方策は考えていますか。(大谷議員)

**小尾課長** 検診の必要性を機会のあることに伝えていくこと、また、情報提供の改善も必要と考えています。



長年使用していた農協倉庫を購入

## 第4回 定例会

### 平成30年度 補正予算 ～ 第4回定例会 ～

一般会計 (第3号) 540万円増  
総額25億5770万円⇒25億6310万円  
・知事・道議選挙費の増など

国民健康保険 (第3号) 70万円増  
総額1億7280万円⇒1億7350万円  
・がん検診委託料の増など

村立診療所 (第2号) 10万円増  
総額9040万円⇒9050万円  
・燃料費の増など

簡易水道 (第2号) 70万円減  
総額1億740万円⇒1億670万円  
・水道システムリース料の減など

公共下水道 (第2号) 20万円増  
総額1億1020万円⇒1億1040万円  
・修繕料の増など

介護保険 (第2号) 10万円増  
総額1億940万円⇒1億950万円  
・居宅介護サービス等給付費の増など

**問** 住宅管理費の燃料費80万円の増額理由を伺います。

(大谷議員)

**小林課長** 駅前住宅「楓」の灯油代を当初、単価80円で計算していましたが、現在103円で試算し増額となりました。

**問** 地域センター病院産婦人科医師確保対策事業負担金34万6千円の増額理由を伺います。

(佐野議員)

**小尾課長** 富良野協会病院の産婦人科医師の経費を沿線5市町村の過去3年分の患者数割合で負担を決め、今回、占冠村の負担は1.57%となり補正計上しました。

**再問** 他の科目の医師を確保するときもこのような算定がされるのか伺います。(佐野議員)

**小尾課長** 地域センター病院として負担している経費は、救急医療対策、小児救急医療支援、産婦人科医師の確保の3点です。で、内科医等が不在の場合等の負担はありません。

**問** 林業振興費の村有林材製材業務委託料の事業の内容を詳しく説明願います。(長谷川議員)

**今野室長** 新築予定の保育所の用材として村有林材を使うため今年度取り組んだ事業です。広葉樹と針葉樹の製材をそれぞれの業者に委託しました。

【特別会計】  
《国保会計》

**問** 保健事業費のがん検診委託料43万円の増額理由を伺います。

(大谷議員)

**小尾課長** 今年度から国保加入者の検診業務は交付金が充たされるため、一般会計から国保会計に移行しました。

## 人事案件

○占冠村教育委員会委員の任命同意

字中央 門間敬行氏



もんま たかし  
門間敬行氏

## 村長の行政報告

### ①住民懇談会の開催

11月5日から11月12日の間に、村内6会場で住民懇談会を開催し、合計で47名の皆様にご参加いただきました。

住民懇談会は、村長と住民の

皆様とひざを交えて地域の課題や将来のあり方について話し合う貴重な機会です。

今回の懇談会でも、参加者の皆様からのご質問や、普段なかなか気づくことができない地域特有の課題、そして、各種の要望などについてお話を伺うことができました。

今回頂いた貴重なご意見を参考に、すぐに対応できるものについては速やかに改善し、予算措置が必要なものについては新年度予算に反映するなど、より良い村づくりのために進める行政施策につなげてまいります。

### ②根室本線対策協議会

11月21日、富良野市で行われた滝川から新得間の7市町村長による根室本線対策協議会の役員会に出席し、国土交通省からの監督命令に基づきJR北海道が作成する2019年から2カ年間の事業計画を作成するにあたり、各自治体も協力することが確認されました。

根室本線は、全線がつながっていることで、その機能を果たせるものと考えており、通学など住民の足としての役割のほか、

災害時の代替ルート、物流、そして富良野、トマム、十勝を結ぶ広域観光ルートの形成などにおいて重要な役割を果たすものであることから、今後も維持継続に向け関係市町村・関係機関と連携を図りながら努力します。

村民の声を  
国政・道政の場に

## 意見書を提出

- 難病医療費助成制度の改善を求める意見書
- 2019年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書

# 決算特別委員会

〔平成30年10月30日・31日〕

## 村の基金は前年度と比較して6908万円の減額

監理のまへに決断



工藤國忠委員長

第3回議会定例会において付託された認定第1号「平成29年度一般会計及び各特別会計決算について」は、10月30日と31日の審査結果により認定すべきものと決定されました。第4回議会定例会で工藤委員長から報告され、本会議において、委員長報告のとおり認定されました。

なお、監査委員より審査意見の報告がありました。

○監査委員審査意見（抜粋）

村の基金（貯金）総額は14億4436万円となりました。

将来にわたる財政健全化に向けて、改善していくことを期待します。今後の村政執行にあたり、住民がいつでも安心してこの村に暮らしていける行政サービスを提供していただきたい。

平成29年度 各会計別決算

【万単位以下切り捨て】

会計別	歳入額	歳出額	差引金額	
一般会計	27億8015万円	27億4315万円	3700万円	
特別会計	国民健康保険	1億8995万円	1億8677万円	318万円
	村立診療所	8544万円	8296万円	248万円
	簡易水道	1億1199万円	1億957万円	242万円
	公共下水道	1億206万円	9962万円	244万円
	介護保険	9722万円	9369万円	353万円
	後期高齢者	1605万円	1586万円	19万円
	歯科診療所	2174万円	2084万円	90万円

### 一般会計

#### ◎歳入

**問** 村税の滞納繰越分の徴収が進んでいない印象ですが、伺います。また、債権管理条例の制定は考えていますか。

（長谷川委員）

**多田総務課長** 財産の差押えや公売等を進めており、歳入確保に努めています。条例の整備については検討しながら滞納処分の流れを強化します。

**問** 道路占用料の収入未済の内容を伺います。（長谷川委員）

**小林建設課長** 電柱を村道敷地に建てることで料金が発生し、1件の未納がありました。今年度で納入済です。

**問** 農林業費道補助金543万4千円が減額補正された理由を伺います。（長谷川委員）

**今野林業振興室長** 鬼峠支線林道工事で資材の入手が困難というところで、延長が減少したため減額となりました。

**問** 生産物売払収入は、当初予算が70万円で、収入は30万5千

円でした。問題点と今後の対応を伺います。（長谷川委員）

**今野室長** 長年同じ価格で販売していますが、他の炭の市場と比べ適正価格なのか、また、この価格で村民が納得して購入しているのか、次年度に向けての検討課題だと思っています。



林道鬼峠支線

**問** ふるさと寄附金が当初予算から大きく減額している理由と、今後の村の方針を伺います。

（長谷川委員）

**三浦企画商工課長** 総務省から返礼品を30%以内で周知されたことが減額の大きな理由と考えられています。今後は村内農園の野菜や、地元の体験メニュー等で寄附金の獲得に努めます。

## ◎歳出

**問** 予約型乗合交通が使いづら  
いという実態がありますが、不  
要額が212万円程出ている理  
由を伺います。(五十嵐委員)

**小林課長** むらびと交通、巡回  
バスの委託料で多額の不要額と  
なりました。今後は適正な予算  
の執行に努めます。

**問** じん芥処理費の備品購入を  
行わなかった理由を伺います。  
(五十嵐委員)

**小林課長** 美園と川添の集会所  
に牛乳パック回収箱を購入予定  
でしたが、管理が難しいとの意  
見から購入を中止しました。

**問** 畜産・酪農収益力強化整備  
等特別対策事業補助金の詳細な  
内容を伺います。(長谷川委員)

**平岡農林課長** 国際競争力の強  
化を力強く、かつ集中的に進め  
るため、搾乳ロボットの先端的  
導入による管理施設の整備を行  
うものです。事業主体は富良野  
地区畜産クラスター協議会で、  
総事業費は約4億1100万円  
です。※総事業費のうち国から  
補助金として、約1億7600  
万円が支払われています。



搾乳ロボットが導入された新しい牛舎

**問** 湯の沢温泉が赤字決算と  
なった理由と、今後も指定管理  
で営業を続けるのか伺います。  
(長谷川委員)

**三浦課長** 赤字の主な要因は、  
宿泊客が増えたことによる人件  
費の急増です。

**田中村長** 貴重な地域活性化に  
つながらる施設としてこれまで運  
営していますし、村唯一の保養  
施設なので、当面、指定管理で  
存続していきます。

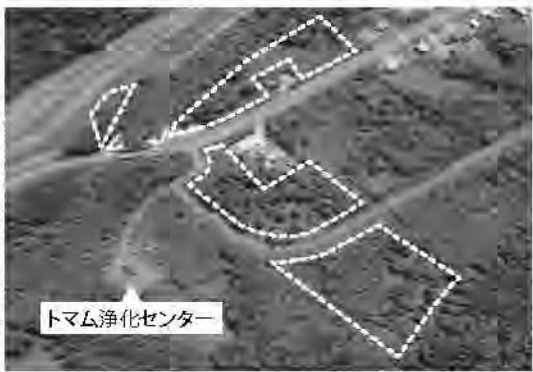
**再問** 税金を毎年投じて運営し  
ていくことを住民にはつきり周  
知し、今後の温泉を続けてなけ  
ればならないと思いますが、伺  
います。(長谷川委員)

**田中村長** 指定管理スタート時  
に、村の負担について村民の合  
意があったと思っています。ま  
た、毎年議決をいただいている  
事業です。今後も民間事業者が  
単独で運営できるように施設に  
なり、村の経費を少しでも減ら  
すよう努力していきます。

**問** 教育費全体で大きな不要額  
が出ていますが理由を伺います。  
(大谷委員)

**藤本教育長** 委託料等で減額補  
正しなかったこともあり、不要  
額が多くなりました。

**問** 普通財産取得費で購入した  
土地の使用目的を伺います。  
(長谷川委員)



上トмам地区の土地を購入  
トмам浄化センター

**多田課長** 上トмам地区の土地  
を購入し、村有地として活用し  
ます。

**問** 農業構造改善事業費で、キャ  
ンプ場の飲料水はタンク車を借  
り上げて対応していると思いま  
すが、詳しい状況を伺います。  
(佐野委員)

**平岡課長** 今年度は雨によって  
水が足りたので実績はありませ  
んでした。自然環境の状況によ  
り、タンク車での運搬が必要と  
なります。

## 特別会計

### 国保会計

**問** 国民健康保険税の収入未  
済、不納欠損の理由を伺います。  
(長谷川委員)

**多田課長** リポート関連の従業  
員、外国人の短期就労の方で転  
出や出国も多く、対応に苦慮し  
ています。回収については預金  
等の差押えで対処していきます。

**問** 一般会計繰入金が減額補正  
されている理由を伺います。  
(長谷川委員)

**小尾住民課長** 国から法定外の

繰入れを極力減らすよう指導が  
あり、財政調整基金繰入金に組  
み替えました。

### 介護保険会計

**問** 保険料徴収率が年々下がっ  
ている要因を伺います。  
(長谷川委員)

**木村福祉子育て支援課長** 現年  
度分の収納率が下がっているこ  
とが要因と考えます。年度内納  
付を計画的に取り組みます。

**問** 保険給付総額の上昇を抑制  
するための対策が必要と考えま  
すが、考え方を伺います。  
(長谷川委員)

**木村課長** 国においても保険給  
付の上昇を抑えるため、介護予  
防事業に重点を置いています。  
本村でも、お元気さんクラブや  
手仕事カフェ、社協事業等で介  
護予防に取り組んでいます。



## 決算特別委員会

# 双珠別ダムを調査

村内所管事務調査  
(10月3日)



昭和36年7月竣工当時の双珠別ダム

## 【双珠別ダム概要】

- 発電所名：右左府発電所
- 有効貯水容量：30万m<sup>3</sup>
- 流域面積：64.0km<sup>2</sup>
- 運転開始：昭和36年8月(経年57年、一般的にダムの耐用年数は100年以上)
- ダム高：29.0m
- 堆砂率：推定30～40%(貯水機能には問題を生じないレベル)

調査は、副村長、総務課長が同行し、北海道電力株式会社日高水力センター所長他2名の担当者より現地説明を受けながら実施した。

## 災害等の対応

双珠別ダムは、発電用のダムで洪水調節機能はない。大雨の時には、アメダス等の気象庁の

データや独自の気象観測装置等で雨量を予測し、安全第一に対処している。そのため、災害が想定される場合には「ただし書き操作」をし、事前に放水する場合がある。

胆振東部地震の際の全道的なブラックアウト時には、右左府発電所単独で占冠村(一部を除く)の電力が賄われたため、早期に電力が復旧した。

## 検討課題

○双珠別ダムに通じる林道は、災害時でも安全に通行できるように、北電本社及び林野庁へ働き掛けしていただきたい。

○タイムライン(災害等の事前対応)について、村を始め、鶴川流域自治体、北海道、北電等との連携構築を進められたい。

○鶴川と双珠別川の合流点の危険認識、住民の放流への不安感等について、北電側に理解・認識してもらうように村から丁寧な説明をしていただきたい。

○北電側に、放流の対応や周知方法を直接住民に説明する会を定期的に開催するように村から働きかけていただきたい。

## 活動報告

### ○上川管内議員研修会

(10月23日)

当麻町の公民館まとまーるで開催されました。

元米国森永乳業社長の雲田康夫さんから「豆腐バカ、世界に挑む」と題し、また、鹿児島県の百貨店・山形屋カリスマバイヤーの日高博昭さんから「山形屋の『北海道主催北海道の物産と観光展』への取組み」と題し、それぞれ講演がありました。

### ○富良野沿線議員研修会

(10月29日)

南富良野町保健福祉センターみなくろで開催されました。山梨学院大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭さんから「地方議会の根幹としての議会及び議員の役割と地方議会の改革について」と題して講演がありました。



山本敬介議員

# トマム地区の子育て支援と定住施策

## 1 トマム地区の子育て支援と定住施策

**問** トマム地区で、北海道大学大学院環境科学院による子育て支援のための住民ワークショップが行われています。

しかし、ワークショップのためにヒアリングをした結果、この6年以内に小さな子供を持つ家庭の約半数が転居をする可能性があると回答するなど危機的な状況です。

こういった子育てしにくい生活環境、近隣市町村に比べて子育て支援サービスの不足、教育に対する不安を、村長はどう認識していますか。

**田中村長** 育児支援、住宅、移動手段が、トマムでは大変課題になっていると認識しています。

**問** トマム住民の方は、行政が何を考えているのか分からない、定住や子育ての施策が何も見えないと言っています。

また、行政のトマムに対する認識というか心の距離が遠く感じるとも言っています。

地域振興室だけでなく、福祉子育て支援課、保育所を所管しているトマム支所、協力隊、教育委員会などの横断的な体制

を進めていくべきと思いますが伺います。

**田中村長** 私は中央とトマムを分けるような見方をしているつもりはありません。占冠村全体の中で考えています。

近隣町村とのサービスの違いについても、現在の村の施策では十分でない認識しておりまして、今回のモデル事業の中で子育てに関するコンテンツを北海道大学の力も借りながら作成し、藤田地域振興室長、木村福祉子育て支援課長とともに、この方向性をより良いものにしたと考えています。

**問** トマム公園計画は、子育て支援の重要な柱となる施策です。今後の進捗を伺います。

**田中村長** トマム地区公園は、平成28年度に基本設計を住民の皆さまとの3回のワークショップを通して策定をし、平成29年度には現地調査、本年度は公園の入り口と考えているミナトマム周辺の駐車スペースの路盤改良と老朽化した大型看板の撤去を行いました。本年度の事業費は270万円で、今後も年度ごとに予算を確保しながら進めていきます。

**問** 2017年4月にトマム地区に建設した子育て世帯向けの民間賃貸住宅は、現在4戸のうち3戸が空室で、空室部分の村の家賃保証は1カ月に25万5千円、既にこれまでに382万5千円の税金が、施策として効果がないまま無駄に使われている状況です。

**田中村長** 担当者、庁内、地域住民を含めて、どういう環境であれば入っていただけるのか今後検討し、この住宅が有効に使われるよう努力します。

## 2 トマム駅周辺の歩道整備を

**問** リゾートの入口から駅側の道道には歩道がなく、カーブや橋もあって、非常に危険な状況です。過去には人身事故もありました。歩道の設置を要望すべきと思いますが、伺います。

**田中村長** この場所は、主要道道夕張新得線トマム駅前線形改良と題して北海道へ要望を続けています。しかし、リゾートへ至る歩道橋の橋脚が障害となり、施工が困難との回答です。村としては、歩道だけでも付けられないか、改善に向けた努力を続けていきます。

## 3 自治功労者追悼式

**問** 毎年、自治功労者の追悼式が行われています。しかし、同じような追悼式を開催している自治体はほとんどありません。過去に自治に尽力された方々に敬意を払いつつ、時代に合わせ追悼の形を変えていく必要があると思いますが、伺います。

**田中村長** 今後はご遺族のご意向を聞きながら、追悼式のあり方を検討してまいります。



子育て支援ワークショップ



五十嵐正雄議員

# 避難施設・ 役場庁舎のトイレ

## 1 避難施設のトイレ

**問** 村内の各避難施設のトイレについては、高齢者や障がい者にとって大変使用しづらい施設となっております。車いすを使用している方については、利用できない施設となっております。

避難場所には、高齢者や障がい者が優先的に避難しながら、多くの人たちがそこで避難期間中生活をします。避難者にとってストレスがかかる状況が続きます。トイレを車いす用にしていくためには、多額の予算を伴うことから、計画的に施設改修を実施する考えがあるか、伺います。

**田中村長** 占冠中学校のトイレについては、車いすでの利用ができない状況です。設置及び改修の必要性も認識しています。建物の構造的なものにより、大規模な改修になる場合もあり、改修可能な施設について計画的な実施ができるよう検討してまいります。

**問** 近年、予測できない災害が多発しています。避難施設の改修をそのうち計画的にやりますという話ではなく、大変ストレ

スのたまる避難所生活の中で、安心して使えるトイレは絶対必要です。再度、村長の考えを伺います。

**田中村長** 必要性については認識しています。平成29年度に占冠中学校の多目的トイレの増設工事を検討しましたが、多額の予算が必要なため、中身を検討しながら、出来るだけ早い時期に実現させたいと考えています。



車いすでは利用できない中学校のトイレ

## 2 役場庁舎のトイレ

**問** 役場庁舎の新築は考えているか伺います。

**田中村長** 庁舎の新築の計画はありません。しかし、将来的に

改築、あるいは新築の時期を迎えることは想定できますので、財政的な措置として、公共施設等維持管理基金の積み立てを行ってまいります。

**問** 役場庁舎のトイレについても障がい者や高齢者が使いづらく、また、住民や職員が安心して利用できるトイレとはなっていないと思います。

男子用、女子用トイレが壁一枚で仕切られており、下側が3cmほど開いた状態です。トイレに入っていく音が聞こえる、人権無視のトイレです。一日も早く改修して、人権が守られるようにしていかなければなりません。村長の考えを伺います。

**田中村長** 新年度予算におきまして、仕切りの改善、音の問題についても対応したいと考えています。障がい者用の多目的トイレについては、現状、建物の構造上の関係から、新設・改修については難しいとの判断をしています。

**問** 1階を女子トイレ及び多目的トイレ、2階を男子トイレとすることもできます。トイレを使用するのに隣のトイレの電気が付いているかいないかで使用

の判断をするという職場環境はおかしい話です。働いている人たちや地域の住民が利用することを考えれば、多目的トイレがない庁舎は今どきないわけで、利用の仕方を変えていくことによって改修、改善することができると考えます。村長の考えを伺います。

**田中村長** 来庁者の利便性、職員等の利便性を含めて、どういった形が良いのか提案をいただきましたので、再度、内容について検討させていただきます。



古い造りの総合センタートイレ





佐野一紀議員

# 避難路建設の対応と進捗状況

## 1 避難道路建設の対応と進捗状況

**問** 近年、異常な気象変動により、日本列島各地で想定外の自然災害が多発しています。

住民の安全、安心を確保し、防災、減災につながる車両の通行可能な避難路の建設に向け、

村と議会は必要性を認識し、今年6月に現地踏査を行ってきたところでは、避難路の建設により、災害弱者（要介護高齢者

身障者、乳幼児、妊産婦、在宅難病患者）等の避難行動が迅速に行われるのではないかと思います。

急傾斜地の土砂災害警戒区域の関係、河川管理上の道建設管理部の対応等についての進捗状況を伺います。

**田中村長** 避難路建設の対応というところで、村と議会双方からの案を検討し、必要性について協議してきました。

今後は資料等を整理し、全員協議会等で説明を申し上げたいと考えています。

**問** 避難道路の現地状況・予備調査等は予算が伴うものであり、財政状況も考慮しなければなりません。今、村では内在的

に保育所新設や一般ごみの埋立地問題、地方自治の原点である福祉施策等課題が山積しています。年次計画を立て、行程表の中で進めるべきと考えていますが、お伺いします。

**田中村長** 制約、条件の整備について申しあげますと、保安林解除の件は大臣許可となっており、協議開始から概ね1年程の期間を要します。

河川の占用許可は、北海道によると災害時危険となる河川付近を通過する必要性、河川に道路を敷設する合理的な理由がなければ許可できない旨の回答を受けています。

地滑り危険箇所での工事に関する点では、危険箇所の指定地に避難路を敷設することは二次災害の危険性があるのではないかとの見解が示されています。

これらを考慮した上で、調査費、設計費、工事費を算定することになるので、現状では不確定要素が多くあり、具体的な数字については協議会等の中で説明していきたいと考えています。

明していきたいと考えています。



ペットと一緒に避難するには？

## 2 避難敷地内の野外トイレ

### 野外トイレ

**問** 避難所の付帯施設として、野外トイレの必要性についてお聞きします。災害時、ペットと一緒に同行避難される方の対策が必要だと思えます。また、避難所でのトラブル防止面からも考慮すべきと考えますが、お伺いします。

**田中村長** 災害時において、ライフラインが停止し、既存のトイレが使用できない状況が予想され、野外仮設トイレ、簡易トイレが必要となるため、トイレについてはレンタル事業者と災害時における賃貸借協定により

確保しています。その他の物資についても物資供給等の協定により調達体制を整えています。

ペット関係の避難は、北海道動物愛護条例により、飼い主の自己責任で行うものとされており、また、場所確保等の扱いは大変難しい問題です。各地の事例や、環境省のガイドライン等により一定のルールを作りながら、災害時の対応をしなければならぬと考えています。

## 清流大学24人が傍聴



第4回定例会1日目(12月13日)は、清流大学のみなさん24人が傍聴にお越しいただきました。みなさん、真剣なまなざしで議論を見守られ、熱心にメモを取られる姿もありました。議員も大勢の視線を背中に受けての一般質問は緊張感があり、身が引き締まる思いでした。





大谷元江議員

# 学校給食無償化の提案

## 1 学校給食無償化の提案

**問** 子育てしやすい村として、また、村政基本理念の村民が報われる社会を目指していることから、実施できない金額ではないと思いますので、学校給食の無償化を提案したいと考えます。村長の考えを伺います。

**田中村長** 学校給食にかかる村の負担は、平成29年度ベースで総額1760万円です。個人負担は、そのうち約302万円です。各世帯の所得により、教育等に格差が生まれないよう配慮が必要であると同時に、持続可能なサービス提供をしていくためには、受益者負担も求めていく必要があると考えられています。学校給食の無償化については考えていません。

## 2 占冠保育所建設の進捗は

**問** 占冠地区全戸で行われたアンケート結果も発表されて、建設用地が決定されましたが、その後の進捗状況を伺います。

**田中村長** 7月17日に設計委託業務の契約をしました。関係者とワークショップを2回開催し、多くの意見が出され、その



楽しい学校給食

問、設計会社とも打ち合わせを行っています。住民懇談会で進捗状況をお知らせし、意見をいただいたところです。1月下旬に基本設計ができあがる予定です。2月中旬にパブリックコメントを行い、3月20日に実施設計が完成する見込みです。

## 3 観光客のごみ処理

**問** 自分のごみは自分で処理す

ることが基本ですが、観光客には無理だと思えます。自治体や道の駅の連携が必要と考えますが、村長の考えを伺います。

**田中村長** 多くの道の駅では10年以上前からごみ箱を設置していません。このことは、旅行者にも浸透してきており、概ね苦情は出ていないという状況です。ごみを持ち帰るよう推奨しているのではなく、持ち込まないということが浸透してきているという認識ですので、自治体間での検討はしていません。

**問** ごみは持ち込まない、購入した店で処理してもらうということですが、その「表示」を、村として指定管理者や各テナントに提案していくべきと考えますが、伺います。

**田中村長** 発生ごみの抑制のため、ごみは持ち込まない観光スタイルの促進に向けて、観光客への理解、協力が得られるよう周知していきます。

## 4 避難所の備蓄と表示

**問** 避難所に指定されている住民センターについて、備蓄品がない状況です。村長の考えを伺います。

**田中村長** 村内に避難所が9カ所指定されていますが、備蓄品は2カ所で集中的に管理し、発災前に開設された避難所に輸送することになっています。しかし、災害時には物資輸送が困難な場合も予想されますので、計画的に分散配備し、災害時の備えを整えていきます。

**問** 公共施設に避難所としての表示がありません。村民は理解していると思いますが、村外の方や旅行者にも分かるように表示が必要だと思えます。考えを伺います。

**田中村長** 防災ハンドブック等を全戸に配布していますし、新規にお住まいの方にもその都度配布しています。大きな避難所につきましては、「表示」も必要だと思えますので、今後検討させていただきます。



あきとし  
長谷川耿 議員

# 公園の整備

## 1 公園の整備

**問** 中央地区の3カ所の公園整備について伺います。

まず、河川公園についてです。ここは宮下橋から青巖大橋までの間の公園です。全体がパークゴルフ場で整備されていますが、コース内にヤナギ、ドロノキが生い茂り、枝などが折れる危険性があるので、剪定等をしてはいかがでしょうか、お伺いします。

**田中村長** 現地を見た時間差があるのかなと思いますけれども、今年度、危険木、腐れ木とか傾斜木などの落下の恐れのある

る枯れ枝などの処理をいたしました。今後も危険木等の除去に努めて、河川公園の管理を進めていきたいと考えています。

**問** 農村公園の整備について、この公園は利用しやすく、年に5、6回大きなイベントが予定されています。よく整備されていると思いますが、花木等を再度調査して、剪定をしてはいかがでしょうか。

過去に一度剪定をして、その後、6年くらい剪定しないまま放置されています。また、キャンプカーも増え、ペットも増えてきています。犬を遊ばせる公園を作つてはいかがでしょうか。

**田中村長** 農村公園の管理は、これまで草刈り等を行つていますが、樹木の管理は数年手をかけていないということ、議員のご指摘のとおりです。平成31年度において、枯れ木の処理や、枝の剪定を行つてまいりたいと考えています。

ドッグランについては9月定例会において議論もありましたので、少し時間をいただきたいと思えます。

**問** 村発祥記念碑、歌碑公園についてですが、歌碑公園は、開

基90年記念事業として設置され、現在に至っています。したがって、平成4年に植え付けしたままの姿です。公園の状況を調査して、不要な樹木は伐採するなど美しい公園にはいかがですか。



うっそうとしている歌碑公園

**田中村長** 村発祥記念碑、歌碑公園の樹木ですけれども、整備から26年が経過し、その歳月にあわせて樹高も高くなり、また、樹木の間隔も込み合っており、近隣住民から日当たりも悪く、落葉の処理等について改善を求めるご意見等も頂戴しております。

また、近年ではカラスが巣を作り、住民を威嚇するなどの苦情もあります。通学路にも面していることから、村としても安全確保のために早急な対応が必要と考え、検討を進めていたところでは。

樹木の伐採につきましては、平成31年度の予算の中で、記念碑、歌碑、近隣住民及び通行人の高い樹木を選び、伐採することで環境美化、景観改善を図つてまいりたいと考えています。なお、担当課の予算状況によっては、本年度中にも伐採する可能性があります。

**問** トマムの公園計画は、住民の方がワークショップをやつて、いろいろな計画ができあがっています。

作つた後には必ず整備をしなければなりません。今後、整備をどういう方法で行うのか、お伺いします。

**田中村長** トマム公園についても管理がきちんとできるような方向で検討を加えていくことは必要だろうと思っております。いずれにしても、公園、樹木については適正な管理について、村としても留意してまいります。

河川公園の危険木



# 議会の主なうごき

(平成30年9月定例会終了後から平成30年12月定例会まで)

- |  |   |
|--|---|
| 9月11日(火) 広報特別委員会①(各委員)                     | 道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会平成30年度政策研究会(士別市-各議員) |
| 14日(金) 合同金婚式及び敬老会(各議員)                     | 9日(金) 平成30年度冬の交通安全運動街頭啓発旗の波運動(各議員)            |
| 19日(水) 議員レクリエーション、懇親会(各議員)                 | 平成30年占冠村コミュニティ・スクール議会(各議員)                    |
| 21日(金) 平成30年度秋の全国交通安全運動街頭啓発(各議員)           | 11日(日) 千歳・本通・宮下行政区防災訓練(各議員)                   |
| 30日(日) 占冠中央小学校学芸会(各議員)                     | 12日(月) JR根室本線 新得・南富良野町・占冠打合せ(占冠村-議長)          |
| 10月1日(月) 広報特別委員会②(各委員)                     | 20日(火) 上川管内町村議会臨時総会(東京都-議長)                   |
| 1日~2日 上川・留萌管内女性議員研修会(愛別町-大谷議員)             | 21日(水) 第62回町村議会議長全国大会(東京都-議長)                 |
| 3日(水) 村内所管事務調査、議員勉強会(各議員)                  | 22日(木) 平成30年度富良野沿線市町村議会議長会道外視察研修(埼玉県、茨城県-議長)  |
| 4日~5日 上川管内町村議会議長研修会(占冠村-議長)                | 24日(土) 旭川十勝道路「富良野道路」(北の峰IC~布部IC) 開通式          |
| 9日(火) 広報特別委員会③(各委員)                        | 開通記念祝賀会(富良野市-議長)                              |
| 11日(木) 富良野沿線市町村議会議長会定例会(秋期) 議長会議(占冠村-正副議長) | 26日(月) 総務産業常任委員会(各委員)                         |
| 14日(日) 紅葉まつり(各議員)                          | 12月6日(木) 議会運営委員会(各委員)                         |
| 18日~19日 富良野地方自衛隊協力会中央要望(東京都-議長)            |   |
| 19日(金) アスペンサヨナラパーティー(副議長)                  |   |
| 20日(土) トナム町内会防災訓練(正副議長)                    |   |
| 21日(日) 立憲民主党副代表衆議院議員 ささき隆博 ふるさとの集い(旭川市-議長) |   |
| 23日(火) 上川管内町村議会議員研修会(当麻町-各議員)              |   |
| 28日(日) 平成30年度占冠消防秋季演習(各議員)                 |   |
| 29日(月) 富良野沿線市町村議会議員研修会(南富良野町-各議員)          |   |
| 富良野圏域における河川整備促進に関する要望活動(旭川市-議長)            |   |
| 30日~31日 決算特別委員会(各委員)                       |   |
| 11月2日(金) JR北海道の事業範囲の見直しに係る地域合同説明会(旭川市-議長)  |   |
| 2日~3日 占冠村総合文化祭(各議員)                        |   |
| 6日(火) 北海道の鉄道存続と再生を考える十勝の集いin帯広(帯広市-議長)     |   |

- 【富良野広域連合関係】
- 9月26日(水) 決算審査(富良野市-長谷川議員)
  - 10月17日~18日 平成30年度富良野地区監査委員協議会先進地視察(札幌市、石狩市-長谷川議員)
  - 18日(木) 議会全員協議会、議会運営委員会(富良野市-工藤議員、佐野議員)
  - 11月1日(木) 議会第2回定例会(富良野市-工藤議員、長谷川議員、佐野議員)
  - 19日(月) 定期監査(富良野市-長谷川議員)
  - 12月3日(月) 広域計画審査特別委員会(富良野市-工藤議員、長谷川議員、佐野議員)

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。

## 今後の予定

- 【3月定例会】  
3月7日(木)・8日(金)  
11日(月)・13日(水)
- 【予算特別委員会】  
3月12日(火)

※いずれも午前10:00開会  
※議事内容等により、日程が変更する場合があります。

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます

- ▼議会広報特別委員会(後期)
- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 長谷川 耿 |
| 副委員長 | 五十嵐 正 |
| 委員   | 山本 野  |
|      | 佐野 一  |
|      | 紀介 雄  |

**後記**

12月定例会議会の始まる直前の議場で、傍聴席から赤ちゃんの声らしきものが、かすかに聞こえました。驚いて振り返ってみると、今年の春に生まれたばかりの子供を白い布で包んで胸に抱いたお母さんが、傍聴席にぼつんと座っていました。

お母さんはちょうど2年前に上トナムへ移住してきた方で、前から議会には興味があったとのこと。リゾートは育児休暇中で時間に余裕ができたので傍聴に来たそうです。

この日は、清流大学のみなさんの傍聴も重なり、傍聴席ではたくさんの方々が、トナム生まれの赤ちゃんと対面していました。

様々な世代が地域の課題を持ち寄り、議論する場である議場で、こんな素敵な出会いがある。小さな村の議会の本来あるべき姿と感じました。

(山本)

《議会広報や議事録全文は村ホームページでご覧になれます。》

発行：占冠村議会 責任者・編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>